

2006/07/21 太田寿一

保険業界への就職はオススメできない

保険料の不払いなど、各社不祥事が相次ぐ

業界大手に対する業務停止命令は、業界自体の在り方すら問われる事態となりました。これら不祥事を起こした会社の株主総会では、経営陣に対する責任を問う声が大きく叫ばれました。

またこれらの不祥事をきっかけに、金融庁は、生保 38 社・損保 48 社の計 86 社に対して内部管理体制の調査を始めました。これにより、更なる不祥事が発覚するのでは...という声も囁かれています。

社名	不祥事の内容	行政処分
明治安田生命	・死亡保険金の不当支払、不払など ・15 億円以上の保険金未払	商品の販売停止(2 週間)、生保の新規販売停止(無期限)
損保ジャパン	・社員による保険料の立替払	生保の新規販売、主力商品の販売停止(1 ヶ月)
三井住友海上	・不当な保険金の不払	損害保険、医療保険の販売停止(2 週間)
第一生命	・配当金の不払(1 億 1570 万円)	処分はなし。対象者には遅延利息を含めて全額返還する見通し

銀行での窓口販売

2007 年春から、銀行の窓口で保険商品の販売が全面的に解禁されます。これは、金融全般の垣根を低くする「日本版ビッグバン」の一環であり、1 つの店舗でローン・証券・保険など、あらゆる金融商品を扱えるようになる「ワンストップ・サービス」を目指したものです。既に 2001 年から、一部の保険商品の窓口販売が始まっています。

しかしこの出来事は、およそ 26 万人もの営業社員・32 万店の販売代理店を抱える保険業界にとって大きな打撃になります。そのため、従来の訪問型販売から来店型販売への移行や専門会社の設立による競争力強化など、様々な策を施し対応しています。

社名	内容	新会社名
第一生命	窓口販売専用の保険を開発する専門会社を設立。	第一フロンティア生命保険
三井生命・住友生命	来店客向けの保険販売店を運営する会社を設立。	保険デザイナーズ